



講師選 ブックリスト

第4回 ヨコハマライブラリースクール

「ヨコハマトリエンナーレの過去と未来」

選:木村 絵理子(きむら えりこ)氏 編集:横浜市中央図書館調査資料課

今回の講座に合わせて、講師である木村絵理子さんに現代美術に関連する資料を選んでいただきました。一部を除いて横浜市立図書館でも所蔵していますので、是非ご覧になってみてください。

1. 現代アートの流れについて知る

図鑑 1900年以後の芸術 ART SINCE 1900

ハル・フォスター他/著 東京書籍 2019
ISBN:9784487810352

20世紀の美術は、美術全集などでは、どうしても「つけたし」気味な扱いだったり、逆に特定の芸術様式だけを取り上げた詳細な書籍しかなかったりします。本書は、そうした20世紀以降の美術を包括的に扱おうとした意欲的な「図鑑」です。

現代アートとは何か

小崎哲哉/著 河出書房新社 2018
ISBN:9784309279299

現代アートはその芸術としての「表現」だけでなく、現代アートを取りまく社会や経済の「仕組み」によって「アート」として成立している側面があり、本書はその仕組みをわかりやすく解説しています。

流れの中で: インターネット時代のアート

ボリス・グロイス/著 人文書院 2021
ISBN:9784409100455

著者である美術史家のボリス・グロイスは、旧東独出身で、冷戦下に西独へと亡命した経歴を持ち、西側の世界では見えにくかった冷戦期の社会主義時代の美術について論じた本(『全体芸術様式スターリン』)で知られます。本書では、ポスト冷戦期・グローバリズムを経た社会におけるアートが、インターネットによってどのように「流動的」なものになっていったのかを解き明かそうとします。

■こんな本もあります 図書館のおススメ■

現代アート入門

デイヴィッド・コッティントン/著 名古屋大学出版会 2020

ISBN:9784815810092

ポスト人新世の芸術

山本浩貴/著 美術出版社 2022
ISBN:9784568202816

「ヨコハマトリエンナーレ 2020」をはじめ、近年、世界中の美術館や国際展で言及されることの増えた「人新世」や脱中心主義について論じた一冊です。

■「人新世」とは■

2000年にドイツの大気化学者P=クルツェンが地質時代の区分の一として提唱した時代。完新世後の人類の大発展に伴い、人類が農業や産業革命を通じて地球規模の環境変化をもたらした時代と定義される。

ひとしんせい。アントロポセン。

Japan Knowledge デジタル大辞泉より

人工地獄 現代アートと観客の政治学

クレア・ビショップ/著 フィルムアート社 2016
ISBN:9784845915750

観客が参加する(巻き込む)ことによって成立するアート、という観点から20世紀の美術を読み直そうとする本です。語られている事象は過去(20世紀)のことなのに、現代(21世紀)のアートを考える手がかりとなる、そうした書籍です。

ヴェネチア・ビエンナーレと日本

国際交流基金/企画・監修 平凡社 2022
ISBN:9784582206500

世界で最も古くから始まり、現在まで続く国際展であるヴェネチア・ビエンナーレ。その国別参加パビリオンとして、日本は1952年より継続参加しています。本書は70年以上にわたる日本館の展示の全容を紹介する記録集です。

2. 国際現代美術展（ビエンナーレ、トリエンナーレ）について知る

日本国際美術展と戦後美術史：その変遷と「美術」制度を読み解く（アカデミア叢書）

山下 晃平／著 創元社 2017
ISBN:9784422701141

かつて東京で開催されていた日本国際美術展（東京ビエンナーレ）について論じた書籍。上記、ヴェネチア・ビエンナーレへの日本館参加と同じ1952年にアジア初の国際展として始まりましたが、やがて内容や役割が徐々に変化させて、幕を閉じることになるまでの経緯を紹介しています。

世界の現代アートを旅する：ドクメンタ、ミュンスター・スカルプチャープロジェクト、ヴェニス・ビエンナーレをめぐる、一ヶ月の旅の記録

友川綾子／著 ayatsumugi publishing 2021
※電子書籍 Kindle 版

※横浜市立図書館では所蔵していません

ヨーロッパを代表する3つの国際展であるヴェネチア・ビエンナーレ（2年おき）とドクメンタ（5年おき）、ミュンスター・スカルプチャー・プロジェクト（10年おき）が一度に開催される年に、それらを巡ったライターによる旅のエッセイ。

■こんな本もあります 図書館のおススメ■

現代アートを殺さないために

小崎哲哉／著 河出書房新社 2020
ISBN:9784880653648

芸術祭と地域づくり

吉田隆之／著 水曜社 2019
ISBN:9784880654720

新・アートの裏側を知るキーワード

横山勝彦ほか／監修 カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
2022 ISBN:9784568240870

ニッポンの芸術のゆくえ

平田オリザ、津田大介／著 青幻舎 2021
ISBN:9784861528347

3. 講師が企画・執筆した近年の書籍

ヨコハマトリエンナーレ 2020 : AFTERGLOW 光の破片をつかまえる

横浜トリエンナーレ組織委員会／編・出版 2021
最新のヨコハマトリエンナーレ公式カタログ。コロナ禍で開催された数少ない国際展のひとつとして、来場が叶わなかった読者に向けた、アーティストック・ディレクターとキュレーターの対談形式によるギャラリー・ツアーというかたちで展覧会を紹介。

BODY/PLAY/POLITICS

横浜美術館／企画・監修 モ・クシュラ 2016
ISBN:9784907300043

講師企画によるグループ展の公式カタログ。人間の身体が美術表現の中で何を象徴するものとして現れるのか、人種や民族、性別、個と集団といったさまざまな違いを通して考えようとする展覧会。

帰去来 蔡國強展

蔡國強／作 横浜美術館／企画・監修 モ・クシュラ
2015
ISBN:9784907300012

蔡國強は、紙や陶磁器、カンヴァスの上で火薬を爆破させて、その痕跡によって絵画を生み出す中国出身のアーティストです。本書は横浜での個展に際して刊行された公式カタログで、作家による自伝も収録。

奈良美智：君や僕にちょっと似ている

奈良美智／画 横浜美術館／企画・監修 フォイル
2012
ISBN:9784902943740

奈良美智は現代の日本を代表する画家、彫刻家として知られます。横浜では2001年に続く2回目の大規模個展として開催された展覧会の公式カタログ。

横浜市中央図書館では、みなさまの調査研究・問題解決のお手伝いをしています。
お気軽にお問い合わせください。

代表電話 045(262)0050

電子申請 (<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/library/shirabemono/referance.html>) 横浜市中央図書館調査資料課